

連載シリーズ 京都市内博物館施設連絡協議会（京博連）加盟施設紹介

第9回 古典の日記念 京都市平安京創生館

by JH3MKP/岡口

【はじめに】

今回紹介する「古典の日記念 京都市平安京創生館」は、「京博連加盟施設紹介」としては9回目を数えますが、ICOM京都大会関連の連載シリーズとしては今回で最後となります。

4月1日から記念局（8J〔N〕3ICOM）運用が12月31日にて終了するため、200館以上も加盟されている京都市内の関連施設の5%にも満たない僅かな紹介でしたが、是非皆さんもご近所の博物館、美術館を今一度訪問されてはいかがでしょうか？

本物やレプリカ等を鑑賞することで新たな出会いが生まれて、建物の外に出た時には違った自分がそこにいる筈です。

新しく迎える2020（令和2）年、平安京クラブの年間行事の一つとして「古典の日」をPRする記念局「8N3KOTEN（仮称）」を9月1日から運用する予定であることは冒頭でもお知らせした通りです。

今月紹介する「古典の日記念 平安京創生館」（以降、平安京創生館と略します）は「京博連」の連載シリーズを引き継ぐ橋渡しとして新たな連載シリーズの初回にはもってこいの施設だと思っています。

今回は「平安京創生館」様の概要等を主に紹介させていただき事とし、展示内容等につきましては、次回に詳しく紹介させていただきます。

YXRニュース並びに古典の日 記念局のホームページ（開設予定）の中で画像等を紹介させていただく為には、その所蔵先での許可を得る必要がありますので、その為にももう少し時間が必要なのです。

その分より詳しい所までお伝え出来るのではないかと考えておりますので、ご期待下さい！？

【京都市生涯学習総合センター 概要】（以降、京都アスニー様HPより引用させていただきます。）

京都市中京区丸太町通七本松西入にある京都市生涯学習総合センター（以降、京都アスニーと略します）は、京都の大学、企業など各界各層の叡智と力を結集した最高水準の生涯学習の実現を目指し、「文化都市・京都」にふさわしい生涯学習の拠点施設として、1981（昭和56）年4月に設立されました。



京都アスニー入口。平安京創生館は、その1階にあります。

京都アスニーは、ホール・研修室・実習室・サークル活動室・会議室など多くの学習スペースの他、
京都市視聴覚センター
平安京創生館

を含め生涯学習情報コーナーなども設け、更に隣接する中央図書館と合わせて市民の生涯にわたる総合的な学びの場として活用されています。

京都アスニーでは、公益財団法人 京都市生涯学習振興財団に委託して、京都の誇る歴史や文化・伝統芸能等をテーマとした教養講座を実施している他、独自の質の高い多彩な生涯学習事業を実施しており、年間約50万人の方に来館していただいている。

実施している主な事業は以下の通りです。

- (1) 講演会、教養講座・実技講座の実施
アスニーセミナー、アスニーアトリエ、連続講座、語学講座等
- (2) コンサート、映画鑑賞会の実施
アスニーコンサート、アスニーシネマ等
- (3) 京都市平安京創生館における展示事業の実施
- (4) 生涯学習に関する情報の収集及び提供
- (5) 会議室、研修室等の学習活動のための場の提供
- (6) ビデオ教材やDVD教材及び視聴覚機材の貸出

古典に関する学習講座などは季刊案内冊子「まなびすと」に詳しく掲載されていますので、早めに確認しておかれるとF Bです。

より詳細な内容や今後の予定などは下記京都アスニー様のHPでご覧いただけます。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/top.html>

【平安京創生館の概要】(以降、創生館HPより引用させていただきます。)

平安京創生館は、2006（平成18）年10月6日に開館。

前年の2005（平成17）年4月開設当時は「平安京歴史ゾーン」と呼ばれており、平安京復元模型（初期型）をはじめとする数点の展示内容だったものを大幅リニューアルし、パネル展示による解説の他、多数の出土品を展示して2009年11月1日に「古典の日記念 京都市平安京創生館」として再オープンしました。



創生館入口に所長である千 玄室大宗匠による「古典の日」宣言（抄）が掲げられています。

“私たちの想いを深くし 心を豊にしてくれるもの いまも私たちの魂をゆさぶり「人間とは何か 生きるとは何か」との永遠の問いに立ち返らせてくれるもの それが古典である”
と明確に宣言されています。

私たちが普段想像する、源氏物語などの文学だけを指すのではなく、
古典とは、
“文学はもとよりあらゆる文化・芸術の源泉となってきたものであり、まさに先人たちの叡智の結晶”とされています。

その後2018年3月22日にも常設展示「平安京復元模型」に上賀茂神社や神護寺、高山寺のほか仁和寺など、平安京の歴史を知る上で重要な建造物が含まれた北西部側エリアを加え、模型全体の展示を開始しました。

各々の展示物は画像の使用許可の関係で今回詳しくお見せできませんが、次回までには許可をいただいてより詳しくご紹介させていただきますのでご期待下さい。

何点か展示の様子が分かる程度の画像は後ほど紹介させていただきますが、展示内容は下記の通りです。

《常設展》主な展示物

平安京復元模型（縮尺 1/1000）

鳥羽離宮復元模型（縮尺 1/1000）
 豊楽殿復元模型（縮尺 1/20）
 豊楽殿^{しび}尾復元模型
 法勝寺復元模型（縮尺 1/100）
 国宝 北野天神縁起絵巻（承久本）レプリカ
 国宝 洛中洛外図屏風（上杉本）陶板壁画
 源氏物語車争図屏風 複製（部分）
 平安宮造酒司倉庫跡（発掘調査出土資料）
 平安京跡イメージマップ
 古代の京都～ヤマシロイメージマップ～
 バーチャル平安京 ヤマシロ・平安京オーバーレイマップ
 平安時代の暮らしと文化 体験コーナー



創生館入口です



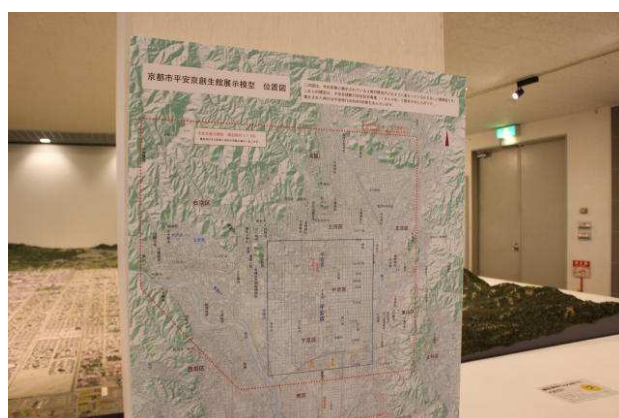
その先を進むと体験コーナーがあります



床面に大きな古代の京都（ヤマシロイメージマップ）



大きな平安京復元模型（双眼鏡が貸してもらえます！）



展示模型 位置図です

《企画展》 平安京周辺の山林寺院 2019/12/14～2020/5/29
戦国時代のファッション 2019/12/14～2020/5/29

平安京復元模型のある所には案内ボランティアの方が2名常駐しておられ、親切丁寧に案内や質問に答えていただけます。

また毎月1回（主に月末最終週）、案内ボランティアによるミニトークが開催され好評を得ています。

京都市内には数多くの博物館・美術館等があり、こうしたボランティアの方々の応援がなければ説明員や監視員を兼ねた人材の確保すなわち、運営そのものが大変なところが多いと聞いています。



案内ボランティア ミニトーク会の案内

その他

《書籍販売》「平安京図会」 古典の日が宣言されたことを記念して発刊

〈復元模型の巻〉
〈史跡散策の巻〉 } 3巻1セット ￥300円
〈源氏物語の巻〉

「院政最大の遺跡 鳥羽離宮を歩く」 ￥1,100円

「源氏物語と平安京」 ￥1,047

「紫式部の生きた京都」 ￥1,028

「源氏物語の雅び 平安京と王朝びと」 ￥1,980円

他

このように、平安京創生館は、

- ・ 平安京を体感する
- ・ 平安京のくらしと文化
- ・ 土の中からみる平安京
- ・ 平安京以降の京都
- ・ 映像コーナー

のコンセプトに合わせて、復元模型や出土品から平安京を再現しています。

よみがえった都を体感し、みやこびとのくらしに思いを馳せてください。

それがこの「平安京創生館」の目的です。

「古典の日記念 京都市平安京創生館」 <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/souseikan/>

〒604-8401 京都市中京区丸太町七本松西入 京都市生涯学習総合センター
(京都アスニー) 1階

TEL 075-812-7222

FAX 075-803-3017

開館時間：午前10時～午後5時

入場料：無料

休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）

及び 年末年始

※ 「京都市平安京創生館」展示 及び 京都アスニー（京都市生涯学習総合センター）協力

次回から、YXRニュースでは、「古典の日」関連施設・場所を連載シリーズにて紹介し、その第1回目を再びここ平安京創生館様に焦点を当てて更詳しくお伝えする予定です。取材・文責 JH3MKP/岡口